



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 U R L <https://www.round1-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 純 T E L 06-6647-6600
 配当支払開始予定日 2026年3月5日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	135,665	7.1	19,561	7.9	17,287	8.5	11,343	0.9	11,344	0.9	13,437	5.1
2025年3月期第3四半期	126,637	—	18,133	—	15,928	—	11,238	—	11,238	—	12,780	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	43.22	43.18
2025年3月期第3四半期	41.65	41.54

当社グループの業績の有用な比較情報として、EBITDA及び調整後EBITDAを開示しております。
 EBITDA及び調整後EBITDAの計算式は以下のとおりです。

EBITDA 計算式： 営業利益 + 減価償却費
 2026年3月期第3四半期 51,313百万円
 2025年3月期第3四半期 50,022百万円

調整後EBITDA 計算式： 営業利益 + 減価償却費 + 非支出費用
 2026年3月期第3四半期 51,834百万円
 2025年3月期第3四半期 50,176百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2026年3月期第3四半期	百万円 292,185	百万円 77,438	百万円 77,438	% 26.5
2025年3月期	259,914	66,883	66,883	25.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 4.00	円 銭 4.00	円 銭 4.00	円 銭 4.00	円 銭 16.00
2026年3月期	4.50	4.50	4.50	4.50	
2026年3月期（予想）				4.50	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
	188,780	—	30,136	—	26,592	—	17,833	—	17,833	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	289,161,942株	2025年3月期	288,477,042株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	26,289,185株	2025年3月期	26,288,775株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	262,493,524株	2025年3月期 3Q	269,806,076株

※ 添付される要約四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報)	7
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

他方、世界経済においては、米国の通商政策等の影響により、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、日本においては、引き続きクレーンゲームの需要が高い傾向であることから、多種多様な景品を取り揃え、売上の向上に努めました。また、様々なコンテンツとの期間限定のコラボキャンペーンやお客様・小中学生向けキャンペーンを実施したほか、「ROUND1 LIVE」を使ったリモートイベントを開催することで、幅広い年齢層に向けた取組みを行いました。

米国においては、ミニクレーンゲーム機の増台を行ったほか、人気の景品を多数取り揃えることで、売上の向上を図りました。

加えて、アーティストとの期間限定コラボキャンペーンを日米同時開催し、売上の向上に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益135,665百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業利益19,561百万円（前年同7.9%増）、税引前四半期利益17,287百万円（前年同8.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益11,344百万円（前年同0.9%増）となりました。

なお、当社グループが運営する屋内型複合レジャー施設は、長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上収益が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

営業基盤を拡大すべく、2025年12月に仙台泉店（宮城県）を新規オープンしたほか、新規店舗の出店準備を進めています。また、様々なアーティストやアニメコンテンツとの期間限定コラボキャンペーンを積極的に展開するとともに、クレーンゲームにおける当社オリジナル景品のラインアップを拡充し、売上および業績の向上に努めました。加えて、アミューズメントコーナーにおいて無料キッズエリアの設置店舗を拡大するなど、幅広い客層の集客を図りました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比5.3%増、アミューズメント収入は前年同7.9%増、カラオケ収入は前年同6.9%増、スポーツチャ収入は前年同5.9%増となりました。

(米国)

営業基盤を拡大すべく、2025年12月にウィローブルック店（テキサス州）を新たにオープンいたしました。また、ミニクレーンゲーム機を引き続き増台したほか、リデンプションゲーム等の新しいアミューズメント機器を積極的に導入し、売上の向上に努めました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同四半期比8.4%増、アミューズメント収入は前年同8.5%増、飲食その他収入は前年同7.8%増、スポーツチャ収入は前年同3.1%減となりました。

(その他)

ラウンドワンデリシャスプロジェクトの事業展開準備を行っております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ32,270百万円増加の292,185百万円となりました。この要因は、その他の金融資産の増加1,859百万円等による流動資産の増加2,379百万円と、使用権資産の増加15,000百万円、有形固定資産の増加13,156百万円等による非流動資産の増加29,891百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ21,715百万円増加の214,747百万円となりました。この要因は、未払法人所得税の減少3,781百万円、その他の流動負債の減少2,227百万円等による流動負債の減少5,876百万円と、リース負債の増加15,720百万円、社債及び借入金の増加11,239百万円等による非流動負債の増加27,592百万円によるものであります。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ10,554百万円増加の77,438百万円となりました。この要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益11,344百万円の計上、配当金3,410百万円の支払等による利益剰余金の増加7,933百万円等によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は26.5%（前連結会計年度末は25.7%）となりました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	51,154	51,536
営業債権及びその他の債権	3,190	2,712
棚卸資産	4,908	5,979
その他の金融資産	2	1,862
その他の流動資産	5,539	5,084
流動資産合計	64,794	67,174
非流動資産		
有形固定資産	70,268	83,424
使用権資産	100,984	115,984
無形資産	926	817
持分法で会計処理されている投資	1,846	2,087
その他の金融資産	10,504	11,070
繰延税金資産	9,504	10,683
その他の非流動資産	1,085	942
非流動資産合計	195,120	225,011
資産合計	259,914	292,185

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,592	9,102
社債及び借入金	12,921	10,771
リース負債	28,049	28,114
未払法人所得税	5,230	1,448
引当金	120	62
契約負債	5,142	5,907
その他の流動負債	8,428	6,201
流動負債合計	67,485	61,609
非流動負債		
社債及び借入金	27,776	39,015
リース負債	88,469	104,189
引当金	7,126	7,234
その他の金融負債	1,634	941
繰延税金負債	—	1,250
その他の非流動負債	538	506
非流動負債合計	125,545	153,138
負債合計	193,031	214,747
資本		
資本金	25,665	25,872
資本剰余金	26,341	26,549
利益剰余金	31,723	39,657
自己株式	△20,005	△20,005
その他の資本の構成要素	3,158	5,365
親会社の所有者に帰属する持分合計	66,883	77,438
非支配持分	△0	△0
資本合計	66,883	77,438
負債及び資本合計	259,914	292,185

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	126,637	135,665
売上原価	104,207	109,015
売上総利益	22,429	26,649
販売費及び一般管理費	4,505	6,608
その他の収益	448	329
その他の費用	240	809
営業利益	18,133	19,561
金融収益	280	597
金融費用	2,686	3,174
持分法による投資利益	201	303
税引前四半期利益	15,928	17,287
法人所得税費用	4,690	5,943
四半期利益	11,238	11,343
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	11,238	11,344
非支配持分	△0	△0
四半期利益	11,238	11,343
1株当たり四半期利益		
基本的 1株当たり四半期利益 (円)	41.65	43.22
希薄化後 1株当たり四半期利益 (円)	41.54	43.18

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	11,238	11,343
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	5	3
純損益に振り替えられることのない項目合計	5	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,538	2,086
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△2	2
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,536	2,089
その他の包括利益合計	1,541	2,093
四半期包括利益	12,780	13,437
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	12,780	13,437
非支配持分	△0	△0
四半期包括利益	12,780	13,437

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社に経営の意思決定機関を置き、国内外で包括的戦略を立案し、総合アミューズメント事業等を展開しております。

従って、当社グループは、経営及び企画の事業本部を基礎とした各国毎のセグメントから構成されており、「日本」及び「米国」の2つを報告セグメントとしております。

「日本」及び「米国」において国別に屋内型複合レジャー施設の運営を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、独立企業間価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	日本	米国	計				
売上収益							
外部収益	73,525	51,964	125,489	1,147	126,637	—	126,637
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—
合計	73,525	51,964	125,489	1,147	126,637	—	126,637
セグメント利益（△損失） (注) 3	11,868	7,336	19,205	△1,075	18,129	3	18,133
金融収益	—	—	—	—	—	—	280
金融費用	—	—	—	—	—	—	2,686
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	201
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	15,928

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国 (Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社) を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当第3四半期連結会計期間において、運転資金として借り入れを行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の日本セグメントに係る預金（現金除く）の金額は、11,775百万円増加の32,928百万円、有利子負債（リース負債除く）の金額は、19,435百万円増加の41,674百万円、米国セグメントに係る預金（現金除く）の金額は、2,488百万円減少の5,806百万円、その他セグメントに係る預金（現金除く）の金額は、2,173百万円増加の2,519百万円となっております。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、要約四半期連結財務諸表計上額と差異が生じております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	日本	米国	計				
売上収益							
外部収益	78,509	56,193	134,703	961	135,665	—	135,665
セグメント間収益	—	—	—	—	—	—	—
合計	78,509	56,193	134,703	961	135,665	—	135,665
セグメント利益（△損失） (注) 3	15,162	6,214	21,377	△1,812	19,564	△3	19,561
金融収益	—	—	—	—	—	—	597
金融費用	—	—	—	—	—	—	3,174
持分法による投資利益	—	—	—	—	—	—	303
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	17,287

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国 (Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社) を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当第3四半期連結会計期間において、店舗出店のための資金として借り入れを行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の日本セグメントに係る有利子負債（リース負債除く）の金額は、9,089百万円増加の49,787百万円、米国セグメントに係る預金（現金除く）の金額は、3,366百万円減少の6,564百万円、その他セグメントに係る預金（現金除く）の金額は、3,372百万円増加の5,183百万円となっております。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、要約四半期連結財務諸表計上額と差異が生じております。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
--	--

減価償却費及び償却費	31,888百万円	31,752百万円
------------	-----------	-----------